

対象数量算出の手引き（令和7年度）

下記アヘイは対象数量算出方法を説明しています。対象期間は令和6年4月1日から令和7年3月31日になりますが、実績がない期間の数量についても対象となるため、推計参考者の数量を参考に算出してください。

○推計参考者

項目	事項
漁業用燃油	同種の漁業種類を行っており、操業の根拠地等の類似性が高いこと
養殖用配合飼料等	同じ魚種を養殖しており、出荷する際のサイズ等の類似性が高いこと

ア 令和6年4月1日以前から自ら漁業等を経営している者

R6. 4. 1	R7. 3. 31	R8. 3. 31
購入量（実績）		

イ 令和6年4月2日～令和7年3月31日の期間に自ら漁業等の経営をするに至った者

○令和6年4月10日に漁業等を開始した場合

R6. 4. 1	R6. 4. 10	R7. 3. 31	R8. 3. 31
購入量（推計）	購入量（実績）		

＜購入量（推計）の算出方法＞

$$\frac{\text{推計参考者の R6.4.1 \sim R6.4.9 の購入量}}{\text{推計参考者の R6.4.10 \sim R7.3.31 の購入量}} \times \frac{\text{R6.4.10 \sim R7.3.31 の}}{\text{購入量 (実績)}}$$

ウ 令和7年4月1日以降に自ら漁業等の経営をするに至った者

○令和7年4月20日に漁業等を開始した場合

The diagram illustrates the relationship between estimated purchase volume and actual purchase volume. It features two horizontal bars: a blue bar labeled "購入量（推計）" (Estimated Purchase Volume) and a yellow bar labeled "購入量（実績）" (Actual Purchase Volume). A blue arrow points from the left end of the blue bar towards the right end of the yellow bar. A red star is positioned at the boundary between the two bars. Below the bars, the text "漁業等を経営" (Operate fisheries and related businesses) is written next to a double-headed horizontal arrow.

＜購入量（推計）の算出方法＞

推計参考者の R7. 1. 1～R7. 3. 31までの購入量 × R7. 4. 20～R7. 12. 31の
推計参考者の R7. 4. 20～R7. 12. 31までの購入量 購入量（実績）